

# 資料 1

## 発達障がい者支援センター 事業実施状況について

(令和4年度12月末)

### 資料 1-1

令和4年4月～12月発達障がい者支援センター事業実施状況

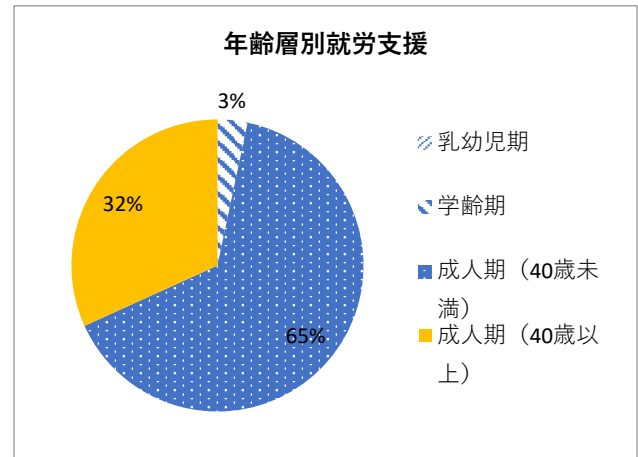
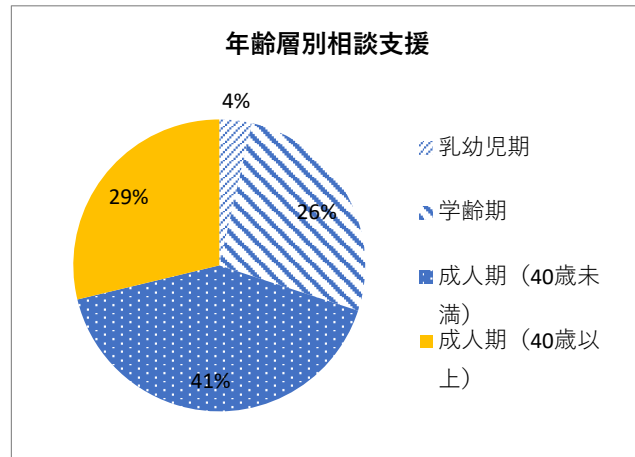
### 資料 1-2

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化（令和4年4月～12月）

<相談件数（実支援人数）>

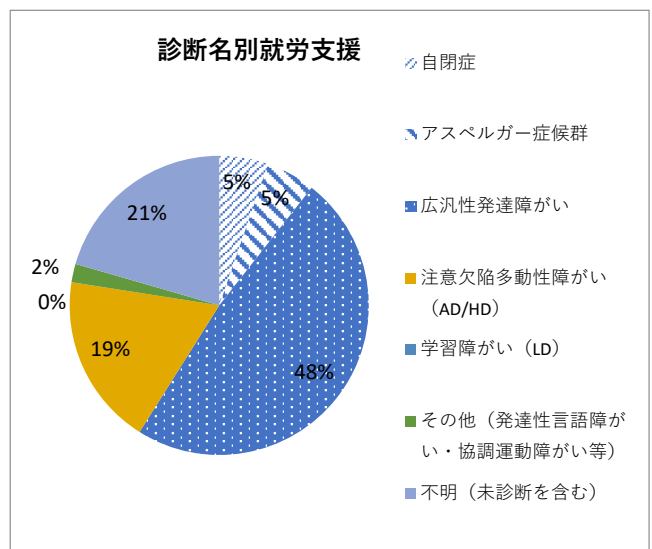
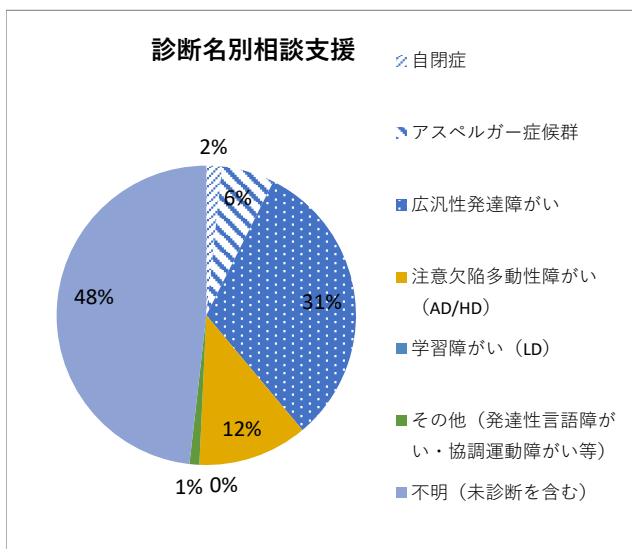
1-1 年齢別

|            | 相談・発達 | 就労  | 小計  |
|------------|-------|-----|-----|
| 乳幼児期       | 17    |     | 17  |
| 学齢期        | 125   | 5   | 130 |
| 成人期（40歳未満） | 195   | 98  | 293 |
| 成人期（40歳以上） | 136   | 48  | 184 |
| 合計         | 473   | 151 | 624 |



1-2 診断別

|                        | 相談・発達 | 就労  | 小計  |
|------------------------|-------|-----|-----|
| 自閉症                    | 8     | 8   | 16  |
| アスペルガー症候群              | 27    | 8   | 35  |
| 広汎性発達障がい               | 149   | 73  | 222 |
| 注意欠陥多動性障がい（AD/HD）      | 56    | 28  | 84  |
| 学習障がい（LD）              | 0     | 0   | 0   |
| その他（発達性言語障がい・協調運動障がい等） | 5     | 3   | 8   |
| 不明（未診断を含む）             | 228   | 31  | 259 |
| 合計                     | 473   | 151 | 624 |



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

| 相談・発達 | 就労 | 計   |
|-------|----|-----|
| 87    | 68 | 155 |

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

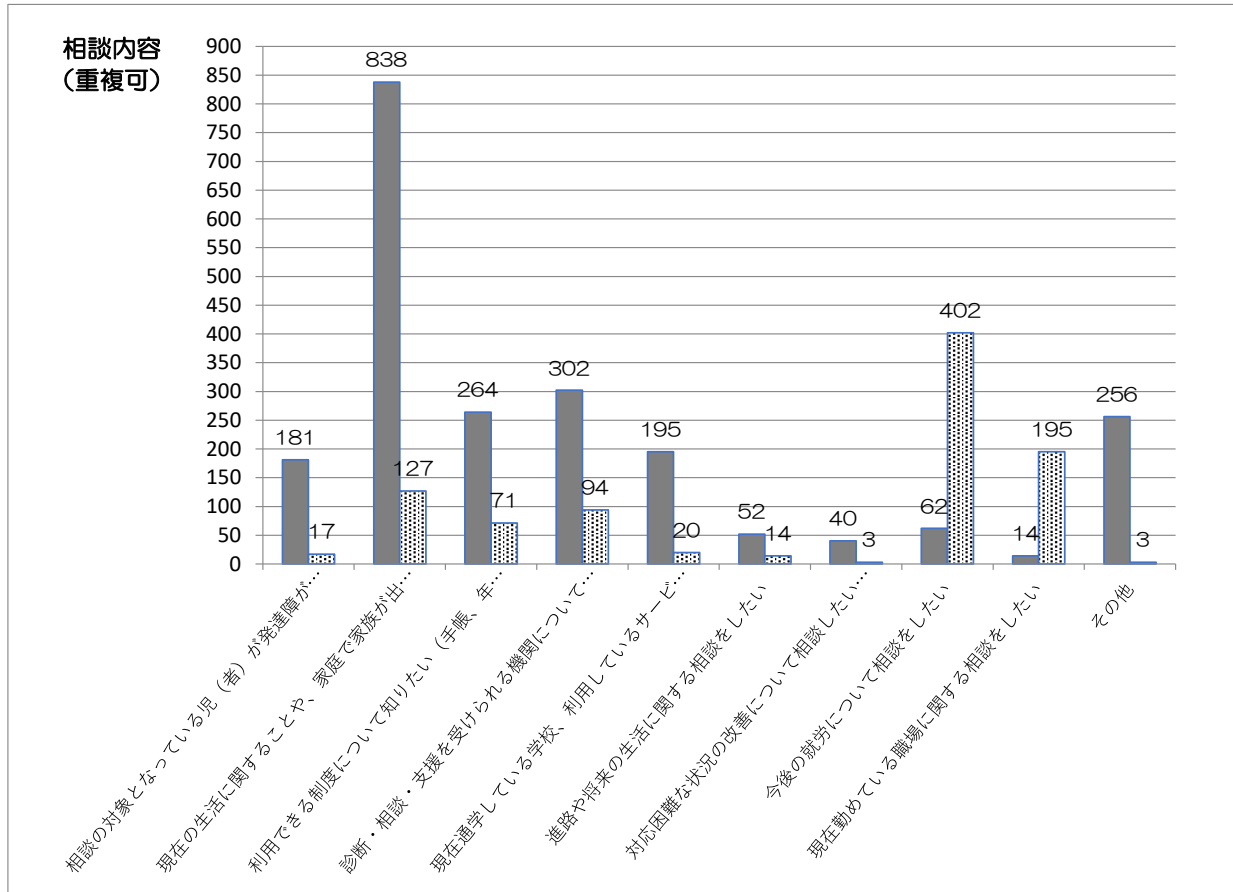
| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|----|---|
| 5     | 1  | 6 |

## 4 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

|                                       |      |     |
|---------------------------------------|------|-----|
| 相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい            | 181  | 17  |
| 現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい         | 838  | 127 |
| 利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど） | 264  | 71  |
| 診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい              | 302  | 94  |
| 現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい      | 195  | 20  |
| 進路や将来の生活に関する相談をしたい                    | 52   | 14  |
| 対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）  | 40   | 3   |
| 今後の就労について相談をしたい                       | 62   | 402 |
| 現在勤めている職場に関する相談をしたい                   | 14   | 195 |
| その他                                   | 256  | 3   |
| 合計                                    | 2204 | 946 |



## 5 機関支援

85回実施（令和4年4月～12月）

実訪問か所 40か所

## 6 研修・啓発

参加総数 2025名

実施回数

|        | 参加総数 2025名                    | 実施回数 |
|--------|-------------------------------|------|
| 主催研修会  | PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座 | 19   |
| 主催連続講座 | ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等 | 118  |
| 共催講座   | 成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て支援セミナー  | 10   |
| 講師派遣   | 出前研修、啓発研修等                    | 18   |
| 計      |                               | 165  |

## 7 発達ノート発行数

|                  |    |       |
|------------------|----|-------|
| 令和4年4月～12月（134冊） | 累計 | 3010冊 |
|------------------|----|-------|

## 論評

・個別相談：実支援人数については、コロナの影響で減少したままであるが、就労相談は増加傾向である。相談内容の内訳としては、3割が現在の生活に関すること、2割が就労について、続いて支援を受けられる機関、利用できる制度の順で多い。令和3年度以降、現在の生活に関することと、就労についての相談が増加傾向にある。発達障がいを知りたいという相談は微減となっており、発達障がいを診断出来る医療機関が公表された影響があると思われる。

・調整会議、機関コンサルテーション：支援機関に繋がっている方からの相談が少ないこともあり、件数は落ち着いている。

・啓発研修：PTは、年度当初は募集定員に達せず1クール開催できなかったが、6月にLINE（ライン）公式アカウントを開設してからホームページへのアクセス数が増加したこともあり、その後は全て開催出来ている。ASD講座等、応募が増えた講座もあった。TTは、今年度も2クールを開催した。

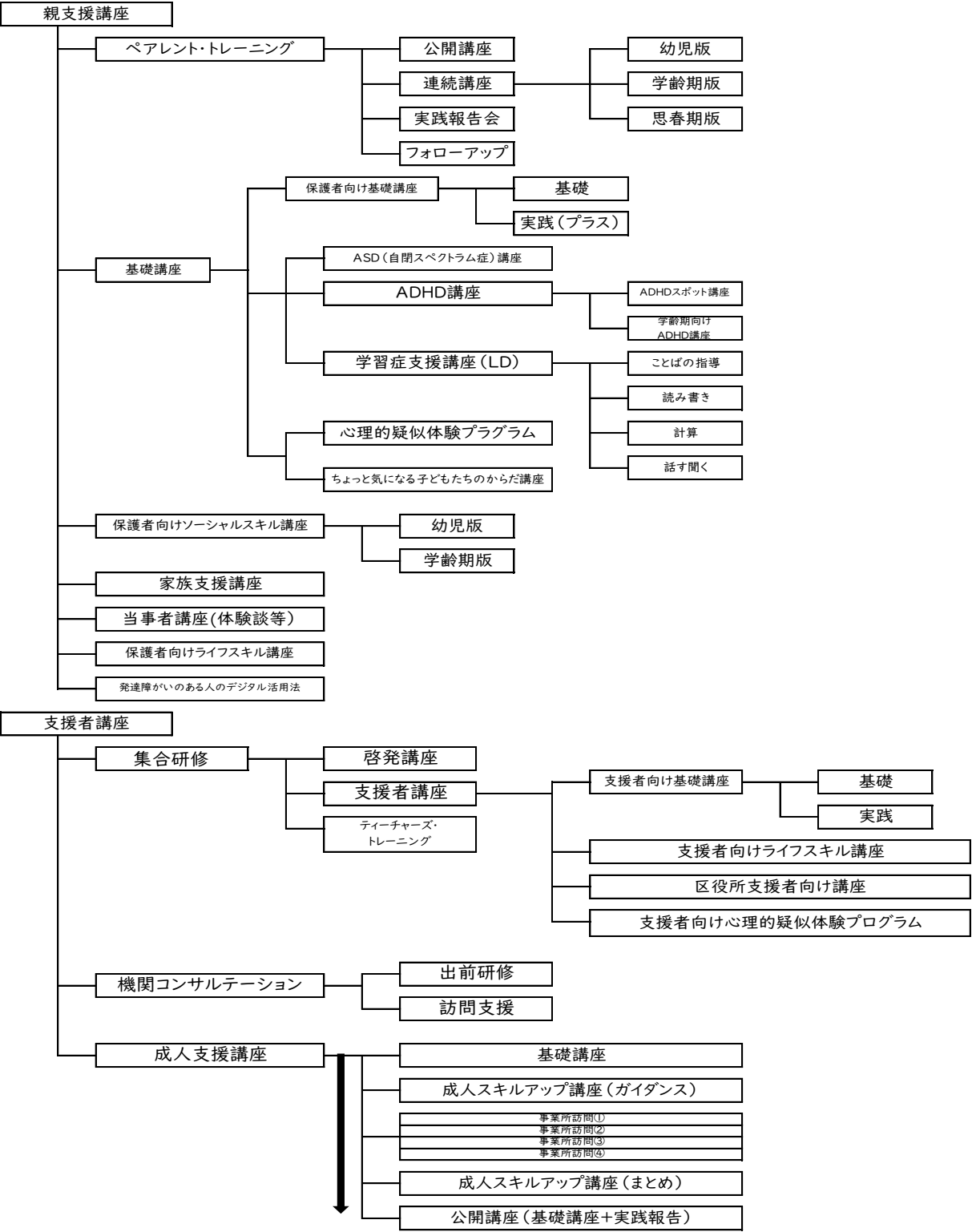
・「こころとからだのWS」「発達障がいのある学生等の就労準備支援事業」は、例年同様、大阪市職業リハビリテーションセンターや就労移行支援事業所であるサテライト・オフィス平野に協力いただいて、随時開催中である。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化  
（令和4年4月～令和4年12月）

事業概要

地域サポートコーチを配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。

エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



## 【取組状況】

## 親支援講座

## 【1】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

## (1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

## ★実施済（3回）

| 日程    | 会場                | 参加者数 |     |     |
|-------|-------------------|------|-----|-----|
|       |                   | 保護者  | 支援者 | 計   |
| 6/24  | 難波市民学習センター        | 25   | 25  | 50  |
| 8/30  | J E C 日本研修センター心斎橋 | 13   | 8   | 21  |
| 11/14 | WEB（オンデマンド）       | 26   | 18  | 44  |
| 計     |                   | 64   | 51  | 115 |

## ★公開講座アンケート結果（回収率86%）

| 講演内容について（理解度） | 人数  |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった    | 68  |
| わかりやすかった      | 29  |
| 難しかった         | 2   |
| かなり難しかった      | 0   |
| 無回答           | 1   |
| 計             | 100 |

| 講演内容について（役立度） | 人数  |
|---------------|-----|
| 大変参考になった      | 66  |
| 参考になった        | 32  |
| あまり参考にならなかった  | 2   |
| 全く参考にならなかった   | 0   |
| 無回答           | 0   |
| 計             | 100 |

## 【感想・意見】

- ・親自身が自信を持って子育てしていけるトレーニング方法がある事を知れて良かったです
- ・子どもの観察をしているようで実際にできていないんだと思いました。子どもを見る良いきっかけになりました。
- ・子どもの感情を受け止めることの重要性を知り、今後の仕事に役立てたいと思います。

## (2) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

定員：8名

## ★実施中・実施予定（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール、思春期：9回×1クール 計89回）

| 対象 | 期間         | 会場       | 参加者数 |     |   |
|----|------------|----------|------|-----|---|
|    |            |          | 保護者  | 支援者 | 計 |
| 幼児 | 5/24～7/26  | 東成区民センター | 中止   |     | － |
|    | 5/27～7/29  | 港区民センター  | 4    |     | 4 |
|    | 9/16～11/25 | 浪速区民センター | 5    |     | 5 |
|    | 9/20～11/29 | 鶴見区民センター | 8    |     | 8 |
|    | 1/11～3/22  | 住吉区民センター | 3    |     | 3 |
|    | 1/12～3/16  | 福島区民センター | 5    |     | 5 |

|     |            |                   |   |  |   |
|-----|------------|-------------------|---|--|---|
| 学 齢 | 5/11～10/19 | 住吉区民センター          | 5 |  | 5 |
|     | 5/19～10/27 | 西成区民センター          | 8 |  | 8 |
|     | 8/29～1/16  | 浪速ビル              | 6 |  | 6 |
|     | 10/11～2/21 | ドーンセンター           | 8 |  | 8 |
|     | 10/12～3/8  | 難波市民学習センター        | 8 |  | 8 |
| 思春期 | 10/20～3/9  | J E C 日本研修センター心斎橋 | 7 |  | 7 |

※幼児Aグループは開催可能人数に達しなかったため、中止になった。

### （３）ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：80名

#### ★実施予定（1回）

| 日程  | 会場       |
|-----|----------|
| 3/3 | 鶴見区民センター |

### （４）ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。（2021年度も含む実施済の講座のフォローアップ）

#### ★現時点での実施済（5回）

| 対象  | 日程   | 参加者数 |
|-----|------|------|
| 幼児  | 4/21 | 4    |
|     | 6/28 | 3    |
| 学 齢 | 5/26 | 3    |
|     | 6/13 | 4    |
|     | 6/29 | 4    |
| 計   |      | 18   |

#### ★現時点での実施予定（2回）

| 対象  | 日程   |
|-----|------|
| 学 齢 | 1/26 |
|     | 2/1  |

## 【2】基礎講座

## (1) 基礎講座

発達障がいの診断を受けたばかりの保護者やグレーゾーンの保護者を対象に、発達障がいの基礎的な知識と支援についての講演を実施します。プラスでは、より具体的な支援方法についての講座を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済 (3回)

| 内容                   | 日程    | 会場            | 参加者数 |
|----------------------|-------|---------------|------|
| 発達障がいの理解と支援<br>(基礎)  | 7/8   | CIVI北梅田研修センター | 25   |
| 発達障がいの理解と支援<br>(プラス) | 9/7   | 大阪御堂筋ビル貸会議室   | 35   |
| 発達障がいの理解と支援<br>(基礎)  | 12/12 | 大阪府社会福祉会館     | 12   |
| 計                    |       |               | 72   |

★基礎講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 54 |
| わかりやすかった      | 17 |
| 難しかった         | 0  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 1  |
| 計             | 72 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 46 |
| 参考になった        | 23 |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 1  |
| 無回答           | 2  |
| 計             | 72 |

## 【感想・意見】

- ・具体的な話も多く、とても参考になりました。
- ・本を読んだり、色々調べたりしているが、実際に日々の生活の中で、活用できることは難しかったりするので、講座などで詳しく聞くことができて、良かった。本の紹介もあるのが良かった。
- ・支援グッズを知る機会、特に手に取ったりする機会はなかったもので、すごく良かったです。子どもにも取り入れてみたいと思った物もありました。先生のお話もすごくわかりやすかったです。

★実施予定 (1回)

| 内容                   | 日程   | 会場     |
|----------------------|------|--------|
| 発達障がいの理解と支援<br>(プラス) | 2/17 | 大阪私学会館 |

## (2) ASD（自閉スペクトラム症）講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化（環境調整）の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子（エルムおおさか センター長）

定員：各回30名

★実施済 (2回×1クール 計2回)

| 内容          | 日程    | 会場           | 参加者数 |     |    |
|-------------|-------|--------------|------|-----|----|
|             |       |              | 保護者  | 支援者 | 計  |
| わかりやすい環境づくり | 10/6  | UMEDA I 大阪梅田 | 21   | 8   | 29 |
| 気になる行動の考え方  | 10/13 |              | 19   | 10  | 29 |
| 計           |       |              | 40   | 18  | 58 |

## ★ASD講座アンケート結果（回収率98%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 38 |
| わかりやすかった      | 14 |
| 難しかった         | 2  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 3  |
| 計             | 57 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 38 |
| 参考になった        | 15 |
| あまり参考にならなかった  | 1  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 3  |
| 計             | 57 |

## 【感想・意見】

・初めて、このような講座に参加させていただきました。具体的なお話が多くて、大変分かりやすく、聞きやすかったです。ASDの子を持つ親として、本人に暮らしやすい環境を作っていきたいと思いますので、本日、お話しいただいたような事は、とても勉強になりました。

・今回の講座を受けて、学校から帰宅した後のスケジュールの見直しをし、今のところ、うまく活用しています（以前も最初はうまくいっていたのに欲求が勝ち、意味のない物になってしまっていた）。くじけずに、何度も見直しして、取り組んでいこうと思います。

・とてもわかりやすかったです。とくに課題分析。動画もあり目標を設定していて、それをどうできるようにしていくかの（過程がわかりやすかった、そのほか事例）実際の具体的なエピソードをまじえての話はためになります。

## （3）ADHD講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

## 1. ADHDスポット講座

対象：保護者・支援者・当事者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部 部長）

定員：80名

## ★実施予定（1回）

| 内容          | 日程  | 会場                     |
|-------------|-----|------------------------|
| もっと知りたいADHD | 1/8 | C I V I 研修センター<br>新大阪東 |

## 2. 学齢期のADHD講座

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：福井 美保先生（大阪大谷大学 教授）

定員：50名

## ★実施済（1回）

| 内容           | 日程    | 会場                    | 参加者数 |     |    |
|--------------|-------|-----------------------|------|-----|----|
|              |       |                       | 保護者  | 支援者 | 計  |
| ADHDのある子どもたち | 11/21 | J E C 日本研修センター<br>心斎橋 | 23   | 34  | 57 |



## ★学齢期のADHD講座アンケート結果（回収率98％）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 33 |
| わかりやすかった      | 17 |
| 難しかった         | 1  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 5  |
| 計             | 56 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 33 |
| 参考になった        | 19 |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 4  |
| 計             | 56 |

## 【感想・意見】

・ 何度か発達障がい講座に参加していましたが、今回ADHDに特化した講座をしていただいて本当に有難かったです。

・ 子どものサポートをどうやっていくか、再度考える良い機会になりました。できるだけ、がんばらせようと思っていましたが、負担になってる事も多いと思い、見直したいと思います。

・ 薬物療法という選択肢を考えるキッカケになりました。保護者の方も踏み出せず、でも学校や放デイでの友だち関係がうまくいかなかったり、自尊心の低下がみられる子がいました。今回の研修で学んだこと、知ったことをみんなで共有してみます。

## （４）ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまづきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施済 （4回）

| 内容                           | 日程    | 会場           | 参加者数 |     |     |
|------------------------------|-------|--------------|------|-----|-----|
|                              |       |              | 保護者  | 支援者 | 計   |
| 豊かなことばを育むために                 | 5/16  | リンク大阪        | 17   | 15  | 32  |
| 聞く力・話す力の理解と指導へのヒント           | 6/8   | 大阪市中央公会堂     | 29   |     | 29  |
| 基礎的な読み書きの力を育てる               | 9/26  | 大阪産業創造館      | 18   | 16  | 34  |
| 読み書きの力を育てる<br>～高学年での課題と学習支援～ | 11/28 | 大阪市立社会福祉センター | 7    | 13  | 20  |
| 計                            |       |              | 71   | 44  | 115 |

## ★LD講座アンケート結果（回収率98％）

| 講演内容について（理解度） | 人数  |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった    | 72  |
| わかりやすかった      | 36  |
| 難しかった         | 1   |
| かなり難しかった      | 0   |
| 無回答           | 4   |
| 計             | 113 |

| 講演内容について（役立度） | 人数  |
|---------------|-----|
| 大変参考になった      | 81  |
| 参考になった        | 30  |
| あまり参考にならなかった  | 0   |
| 全く参考にならなかった   | 0   |
| 無回答           | 2   |
| 計             | 113 |

## 【感想・意見】

- ・言葉を理解できているか、言葉を音で記憶しているだけで使っているかの視点で子どもとの会話を観察しようと思います。その視点がなかったのがそれが知れてよかったです。
- ・自宅で子どもにどんなサポートができるか知りたかったので、参考図書を教えていただけて嬉しかったです。
- ・子どもの目線に立って言葉を分かりやすく伝える大事さを改めて痛感しました。

## ★実施予定 (1回)

| 内容                    | 日程   | 会場       |
|-----------------------|------|----------|
| 算数でつまづく子どもの理解と指導へのヒント | 2/20 | 福島区民センター |

## (5) 心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：小学生の保護者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：20名

## ★実施予定 (1回)

| 内容                                                     | 日程   | 会場      |
|--------------------------------------------------------|------|---------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 1/31 | 大阪産業創造館 |

## (6) ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（兵庫医療大学 准教授 作業療法士）

定員：各回30名

## ★実施済 (2回×1クール 計2回)

| 内容            | 日程   | 会場      | 参加者数 |     |    |
|---------------|------|---------|------|-----|----|
|               |      |         | 保護者  | 支援者 | 計  |
| 感覚と運動発達の視点から  | 6/6  | 大阪産業創造館 | 6    | 21  | 27 |
| 身体と手先の動きを育てよう | 6/13 |         | 4    | 21  | 25 |
| 計             |      |         | 10   | 42  | 52 |

## ★からだ講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 22 |
| わかりやすかった      | 25 |
| 難しかった         | 4  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 1  |
| 計             | 52 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 30 |
| 参考になった        | 22 |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 52 |

## 【感想・意見】

- ・自分の子どもに当てはまる点が多くとても勉強になりました。赤ちゃんの頃にもう少し知っていたらと思いましたが、今でもできることをやって子どもが過ごしやすいうようにできたらと思います。
- ・座位や不器用さが気になるので、第1回2回ともとても参考になりました。家や療育先でチェックしてもらって、それぞれ出来ることをやっていこうと思います。
- ・運動発達と赤ちゃんの発達の比較がとても興味深かったです。人間の発達段階1つ1つに意味があると改めて感じられました。

## 【3】保護者向けソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回20名

## ★実施済（幼児期3回×1クール）

| 区分  | 内容                              | 日程          | 会場             | 参加者数 |     |    |
|-----|---------------------------------|-------------|----------------|------|-----|----|
|     |                                 |             |                | 保護者  | 支援者 | 計  |
| 幼児期 | 幼児期で身に付けたい<br>ソーシャルスキルについて      | 6/22・29・7/6 | 総合生涯<br>学習センター | 18   | 36  | 54 |
| 学齢期 | 小学校（低学年）で身に付けたい<br>ソーシャルスキルについて | 10/17・24・31 | 大阪産業創造館        | 24   | 18  | 42 |
| 計   |                                 |             |                | 42   | 54  | 96 |

## ★SST講座アンケート結果（回収率96%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 64 |
| わかりやすかった      | 26 |
| 難しかった         | 2  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 1  |
| 計             | 93 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 62 |
| 参考になった        | 30 |
| あまり参考にならなかった  | 1  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 93 |

## 【感想・意見】

・みんながわからないことはわからなくても平気だけど、自分だけわからないことがどれだけ不安か、いやな気持ちか…が実体験でとてもわかりました。子どもがいつでも何度でも聞ける雰囲気を大切にしようと改めて思いました。

・子どものアセスメントの重要性を改めて考えました。「ここまで頑張らせよう」と引き上げの方向に注力しがちですが、今出来ている子どもの力を皆が理解してそこから全体を引き上げる方法をスモールステップで考えたいと思います。

・保護者の理解が難しい家庭もありますが、まずは自分で実践してみて、子どもへ返していけるように今回学んだ事を参考にしていきたいと思いました。また、定型発達の子へも活かせる指導の仕方も学びました。

## 【4】家族支援講座

きょうだいが抱えやすい悩みや、きょうだい会での実践について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：滝島 真優先生（きょうだい会SHAMS 代表）

定員：80名

## ★実施済 (1回)

| 内容               | 日程   | 会場                     | 参加者数 |     |    |
|------------------|------|------------------------|------|-----|----|
|                  |      |                        | 保護者  | 支援者 | 計  |
| きょうだい支援の必要性和その支援 | 10/7 | C I V I 研修センター<br>新大阪東 | 14   | 31  | 45 |

## ★家族支援講座アンケート結果 (回収率97%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変わかりやすかった     | 27 |
| わかりやすかった       | 12 |
| 難しかった          | 1  |
| かなり難しかった       | 0  |
| 無回答            | 4  |
| 計              | 44 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変参考になった       | 31 |
| 参考になった         | 10 |
| あまり参考にならなかった   | 0  |
| 全く参考にならなかった    | 0  |
| 無回答            | 3  |
| 計              | 44 |

## 【感想・意見】

・実体験をまじえてお話くださって、とてもわかりやすかったです。きょうだいも支援の対象になっていることを知り、相談できる先があることが分かって良かったです。  
我が家は2人とも特性があり、お互い当事者であるきょうだいですが、1人1人と別別に時間を設けることをやっていきたいと思います。

・当事者としての貴重な体験談をきくことができとても参考になりました。例えば療育への付き合いや、送迎のやり方について工夫してみたいと思いました。

・滝島先生の弟さんのリアリティーのあるお話が聞けて、とてもわかりやすかったです。また先生が子どもの頃に感じていた気持ちなど、具体的に聞いたことで、自分の放デイに通われている利用者さんのきょうだい児さんが、今思っている気持ちなどを改めて理解したいと思いました。

## 【5】当事者講座 (体験談等)

発達障がい当事者による体験談などを交えた講演会。

対象：当事者・保護者・支援者

講師：綿貫 愛子先生 (NPO法人 東京都自閉症協会)

定員：80名

## ★実施予定 (1回)

| 内容                                | 日程   | 会場                     |
|-----------------------------------|------|------------------------|
| 自閉症を楽しむ<br>～ハッピー・ヘルシー・エンパワードな生き方～ | 2/23 | C I V I 研修センター<br>新大阪東 |

## 【6】保護者向けライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身に付けておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者

講師：関 正樹先生 (大湫病院 児童精神科医)

定員：80名

## ★実施予定 (1回)

| 内容                   | 日程  | 会場                    |
|----------------------|-----|-----------------------|
| 子どもたちと<br>ネットやゲームの世界 | 2/7 | C I V I 北梅田<br>研修センター |

## 【7】発達障がいのある人のデジタル活用法

学校内でのデージー教科書やタブレット活用法などについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：安田 加弥先生（大阪市教育委員会指導部 インクルーシブ教育推進担当）

定員：80名

## ★実施予定（1回）

| 内容                     | 日程   | 会場                   |
|------------------------|------|----------------------|
| 子どもの「学びたい！」を引き出すICT活用法 | 1/20 | J E C<br>日本研修センター心斎橋 |

## 支援者講座

## 【1】集合研修

## （1）啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

## ★実施済み（14回）

| 対象           | 内容                               | 会場   | 日程    | 参加者数 |
|--------------|----------------------------------|------|-------|------|
| 市職員（区役所関係）   | 生野区役所保健福祉課 職員研修                  | 生野区  | 6/22  | 22   |
| 市職員（教育委員会関係） | 大阪市教育委員会インクルーシブ教育研修              | 東淀川区 | 9/14  | 46   |
| 当事者・保護者・団体等  | 職業リハビリテーションセンター<br>ジョブコミュニケーション科 | 平野区  | 4/19  | 9    |
|              | 東淀川区自立支援協議会こども部会                 | 東淀川区 | 5/13  | 20   |
|              | 雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座            | 北区   | 7/6   | 46   |
|              | 住之江区青少年指導員連絡協議会                  | 住之江区 | 7/12  | 41   |
|              | 港区子ども・子育てプラザ                     | 港区   | 7/24  | 12   |
|              | 阿倍野区民生委員・児童委員連絡協議会               | 阿倍野区 | 9/5   | 36   |
|              | クレオ大阪子育て館（ファミサポ会員研修）             | 北区   | 9/6   | 17   |
|              | 旭区自立支援協議会                        | 旭区   | 9/20  | 24   |
|              | 阿倍野区自立支援協議会                      | 阿倍野区 | 9/28  | 17   |
|              | 生野区人権啓発推進員連絡会                    | 生野区  | 10/13 | 22   |
|              | 都島区社会福祉協議会 こども部会                 | 都島区  | 11/15 | 15   |
|              | 雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座            | 北区   | 11/16 | 46   |

## （2）支援者講座

## 1. 指定障がい福祉事業所向け 基礎講座

## 「1」基礎講座

発達障がい児・者の支援に必要な基礎知識の講演を実施する。

対象：指定障がい福祉事業所の支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：各回50名

## ★実施済（2回）

| 内容          | 日程   | 会場  | 参加者数 |
|-------------|------|-----|------|
| 発達障がいの理解と支援 | 6/2  | WEB | 101  |
| 発達障がいの理解と支援 | 11/2 | WEB | 102  |
| 計           |      |     | 203  |

## ★基礎講座アンケート結果（回収率81%）

| 講演内容について（理解度） | 人数  |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった    | 127 |
| わかりやすかった      | 36  |
| 難しかった         | 3   |
| かなり難しかった      | 0   |
| 無回答           | 0   |
| 計             | 166 |

| 講演内容について（役立度） | 人数  |
|---------------|-----|
| 大変参考になった      | 137 |
| 参考になった        | 27  |
| あまり参考にならなかった  | 1   |
| 全く参考にならなかった   | 0   |
| 無回答           | 1   |
| 計             | 166 |

## 【感想・意見】

- ・実際に体験する事で少しでも理解が深まったと思います。児童に関わる仕事である以上これからも勉強していかなければならないと改めて実感しました。
- ・発達障害についての基本的な知識をより深く知ることができました。また、以前に学んだことなど初心を振り返ることも出来ました。
- ・発達障がいそれぞれの症状や特性について、詳しく学ぶことができました。また、支援のなかで関わる際に気を付けるポイントも知ることができました。支援者として「具体的な伝え方」ができていなかったな、など普段の関わりのなかで配慮ができていなかったところなど、気づくことが出来ました。大変分かりやすい内容でした。

## 「2-1」児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：村中 直人先生（一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 代表理事）

定員：50名

## ★実施済 （1回）

| 内容                   | 日程   | 会場                    | 参加者数 |
|----------------------|------|-----------------------|------|
| 発達障がいの理解と支援<br>（実践編） | 12/7 | J E C 日本研修センター<br>心斎橋 | 39   |

## ★放デイ向け基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 30 |
| わかりやすかった      | 7  |
| 難しかった         | 1  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 1  |
| 計             | 39 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 33 |
| 参考になった        | 5  |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 1  |
| 計             | 39 |

## 【感想・意見】

- ・問題行動を自分の期待に即して「●●だからだろう」といった安易な考え方をしないよう心掛けたいと思いました。大変勉強になりました。
- ・時間の少ない中、ぎっしりとした内容で勉強になりました。事例検討や仮説をたてる取組には職場に持ち帰り活かしていきたいと思います。
- ・いろんな角度からその子を見て、様々な支援方法を見出していくことの大切さを知り、職場での職員間の話し合いをなお大切にしていこうと思った。今日はありがとうございました。自分の偏った視点をほぐしていこうと思います。

## 「2-2」成人支援事業所支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：譲田 和芳先生（bonワークス豊中 管理者・サービス管理責任者）

定員：50名

## ★実施済（1回）

| 内容                   | 日程  | 会場                 | 参加者数 |
|----------------------|-----|--------------------|------|
| 発達障がいの理解と支援<br>（実践編） | 8/2 | JEC日本研修センター<br>心斎橋 | 29   |

## ★成人支援事業所支援者向け基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 18 |
| わかりやすかった      | 9  |
| 難しかった         | 0  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 2  |
| 計             | 29 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 17 |
| 参考になった        | 11 |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 1  |
| 計             | 29 |

## 【感想・意見】

- ・自閉症の方を支援するための組織のあり方について、考えていきたいと思いました。
- ・とてもわかりやすく参考になりました。今回、やや重度の方を取り上げておられたので、「軽度だからこそ」の話を聞く機会があればと思います。
- ・自閉症について、無知だったので、学習スタイルの部分など、とても勉強になりました。もちろん、個々に性格が違うことは理解していましたが、以前、退所された利用者のことを思い出し、もっと早く勉強できていれば、もっと私にもできたことがあったのではと反省しました。

## 2. 支援者向けライフスキル講座

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：支援者

講師：平木 真由美先生（京都市立総合支援学校 支援部 NWC）

定員：50名

## ★実施予定（1回）

| 内容                      | 日程   | 会場     |
|-------------------------|------|--------|
| 発達障がいのある方の<br>セクシャリティ支援 | 1/18 | 大阪私学会館 |

## 3. 区役所の支援者対象講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的なかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：宮崎 義博先生（作業療法士）

定員：50名



## ★実施予定（1回）

| 内容                               | 日程   | 会場                    | 参加者数 |
|----------------------------------|------|-----------------------|------|
| 気になるこどもの行動理解と<br>かわり方、家庭での工夫について | 8/25 | J E C 日本研修センター<br>心斎橋 | 26   |

## ★区役所の支援者対象講座アンケート結果（回収率92％）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 19 |
| わかりやすかった      | 4  |
| 難しかった         | 1  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 24 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 23 |
| 参考になった        | 1  |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 24 |

## 【感想・意見】

- ・行動（子どもの）理由を保護者にわかるように伝えることで、保護者の関わりが変わる→相談場面で意識したいと思いました。ありがとうございました。
- ・具体的な説明をしてくださり、なるほどあるある！！と思い当たる場面も多く思い出しながら聞かせていただきました。職場に戻り共有させていただきます。
- ・発達障がい児への関わり方のポイントだけでなく、なぜそのような行動が起こるのかを教えていただけたので、とても納得できました。

## 4. 支援者向け心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：発達障がい児に関わる支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：40名

## ★実施済（1回）

| 内容                                                     | 日程   | 会場                    | 参加者数 |
|--------------------------------------------------------|------|-----------------------|------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 9/13 | J E C 日本研修センター<br>心斎橋 | 24   |

## ★支援者向け心理的疑似体験プログラムアンケート結果（回収率100％）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 14 |
| わかりやすかった      | 8  |
| 難しかった         | 2  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 24 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 16 |
| 参考になった        | 8  |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 24 |



## 【感想・意見】

- ・子どもの目線を知ること、接し方や支援の参考になると思います。おひとり、おひとりにどのような支援方法や、接し方がマッチングするか考えつつ、対象者、各々の様子をみながら、本講座を参考に支援できればと考えます。
- ・子ども達の目線で体験できて、日ごろ忘れていた支援のポイントを改めて考えることができました。
- ・グループで話し、一緒に考えることで、とても理解が深まりました。体験プログラムのおかげで、子どもの気持ちを考えることができました。

## （３）ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達特性のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

## ★実施済み・実施中（6回×2クール 計12回）

| 期間         | 会場      | 参加者数 |
|------------|---------|------|
| 6/27～11/28 | たかつガーデン | 8    |
| 7/13～12/14 | たかつガーデン | 8    |

## 【２】機関コンサルテーション

## （１）出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

## ★実施済 （4回）

| 対象                                         | 内容         | 日程    | 参加者数 |
|--------------------------------------------|------------|-------|------|
| 保育所・園                                      | 発達障がい基礎講座  | 5/17  | 12   |
|                                            |            | 8/26  | 6    |
|                                            |            | 11/11 | 6    |
| 青年・成人期支援機関（就労移行支援・就労継続A・B、生活介護、施設入所支援・GH等） | 発達障がいの基礎講座 | 10/24 | 28   |
| 計                                          |            |       | 52   |

## ★アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった    | 41 |
| わかりやすかった      | 11 |
| 難しかった         | 0  |
| かなり難しかった      | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 52 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった      | 38 |
| 参考になった        | 14 |
| あまり参考にならなかった  | 0  |
| 全く参考にならなかった   | 0  |
| 無回答           | 0  |
| 計             | 52 |

## 【感想・意見】

- ・今まで何となく知識として持っていたことも、具体的な例を交えてお話してくださったので、イメージしやすかったです。
- グループワークもあり、色んな人の意見が聞けてとてもべんきょうになりました。
- ・発達障がいについて詳しく教えていただき、大変勉強になりました。今後の保育に役立てていきたいです。
- ・ADHDやSLD、何となく聞いたことがあったのですが、数種類に分類されていたり、人によって症状がさまざまいうことを初めて知りました。今日の研修を通して、子どもひとり一人に合わせて言葉を選び、異なった対応を心がけようと思いました。

## (2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み（延べ85回・40か所）

| 区分           | 延べ回数 | 実訪問か所数 |
|--------------|------|--------|
| 私立保育園        | 49   | 22     |
| 障がい児通所・入所施設  |      |        |
| 教育関係機関       |      |        |
| 成人期支援機関      | 29   | 11     |
| 障がい児・者相談支援機関 |      |        |
| 居宅介護事業所      |      |        |
| 社会福祉協議会      |      |        |
| 区役所（保健福祉含む）  |      |        |
| 労働関係機関       |      |        |
| その他          | 7    | 7      |
| 計            | 85   | 40     |

## 【3】成人支援講座

### (1) 成人期支援者スキルアップ事業

#### ①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（2022年度は5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表しもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。



#### ☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

##### ①成人支援基礎講座



成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

＜実施事業所の募集と選定＞

##### ②ガイダンス



機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。



##### ③まとめ報告会



各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

##### ④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

## (2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

### ①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット 代表）

定員：80名

## ★実施済 (1回)

| 内容                       | 日程   | 会場     | 参加者数      |     |    |
|--------------------------|------|--------|-----------|-----|----|
|                          |      |        | 本人<br>家族等 | 支援者 | 計  |
| 現場でできる、<br>インフォーマルアセスメント | 5/25 | 大阪私学会館 | 1         | 87  | 88 |

## ★アンケート結果 (回収率94%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変わかりやすかった     | 52 |
| わかりやすかった       | 23 |
| 難しかった          | 3  |
| かなり難しかった       | 0  |
| 無回答            | 5  |
| 計              | 83 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変参考になった       | 53 |
| 参考になった         | 25 |
| あまり参考にならなかった   | 1  |
| 全く参考にならなかった    | 0  |
| 無回答            | 4  |
| 計              | 83 |

## 【感想・意見】

- ・自閉症の方の理解が深められました。やっではいけない支援をしていたのではないかと自身や他職員等の支援を振り返って、正しい支援につなげ共有していきたいと思います。
- ・幼少期からしっかりとアセスメント、その方に合わせた支援方法が行えていれば、成年期のその方の将来へ良い方向につながると感じた。
- ・できないことにばかり目が行ってしまいうことが多く、好きなこと、できることに気づいてあげる大事さを学べました。利用者との関係性にもかかわってくることで、実践していこうと思いました。

## ②ガイダンス

## ★実施済 (1回)

| 内容            | 日程  | 会場                     | 参加者数 |
|---------------|-----|------------------------|------|
| コンサルテーションの意義等 | 7/5 | リハビリテーションセンター<br>第1会議室 | 5    |

## ③まとめ報告会

## ★実施予定 (1回)

| 内容                  | 日程   | 会場                     |
|---------------------|------|------------------------|
| 取組内容の整理<br>支援の方向性など | 1/12 | リハビリテーションセンター<br>第1会議室 |

## 【スキルアップの実施状況】

| 事業所 | 施設種別 | 対象者の概要・課題点                                                         |
|-----|------|--------------------------------------------------------------------|
| ①   | 生活介護 | 21歳男性<br>自閉症 強度行動障害<br>療育手帳 A<br>気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言・活動内容 |
| ②   | 生活介護 | 32歳男性<br>自閉症 強度行動障害<br>療育手帳 A<br>気になる行動への対応・活動内容・施設の環境調整           |
| ③   | 生活介護 | 19歳女性<br>自閉症 強度行動障害<br>療育手帳 A<br>気になる行動への対応                        |

|   |            |                                                                                  |
|---|------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 就労継続支援 B 型 | 30歳男性<br>自閉スペクトラム症<br>療育手帳 B 2 + 精神福祉手帳 2 級<br>気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言・活動内容 |
| ② | 就労継続支援 B 型 | 26歳男性<br>自閉スペクトラム症<br>療育手帳 A<br>気になる行動への対応・活動内容・施設の環境調整                          |

#### ④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット 代表）

定員：80名

★実施予定（1回）

| 内容                              | 日程   | 会場     |
|---------------------------------|------|--------|
| 行動上の問題への対応<br>～支援者に求められる知識とスキル～ | 3/11 | 大阪私学会館 |